

ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 59

★オリンピックに関する昭和館図書室の資料を紹介します。

(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問 “友情のメダル” に関することが知りたい。

答 「友情のメダル」で検索してみます。

全資料 → **友情のメダル** (教科書が4件該当)

また、「西田修平」や「大江季雄」をキーワードにして

全資料 → **西田修平** + **空白** + **大江季雄** を入力し

いずれかのことばを含むを選択します。(14件該当)

『昭和史 第7巻』(210.7/Sh97/7)

『昭和日本史 16』(開架大型 210.7/Sh97/16) などがあります。

上記の方法ではヒットはしませんが

『挑戦と栄光と』(開架一般 780/Y23)

また『日録20世紀 第4巻』(開架大型 209/N71/4) など
ベルリンオリンピック関係の図書や雑誌なども参考になります。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等がわからない場合は、カウンター職員までお気軽に…。

・・・もう一冊！！！！・・・57

アテネ・オリンピックですね。アテネはオリンピック発祥の地、本家ですから、特に盛り上がるのではないのでしょうか。どうせなら古代オリンピックにちなんで、古式豊かに・・・やると、女性入場禁止ですから、駄目です。残念。

もともと、どうしても覗きたかった女性がいたようで、男装してオリンピック会場に侵入し、バレて大騒ぎになった事件があったと・・・伝説にあります。(どうしてバレたかは、書けません) オリンピックで不思議なのは、オリンピックのハイライトとも言えるマラソン競技です。これは、ギリシャとペルシャがマラソンで戦った結果を、アテネに知らせるために走った兵士の伝説が元になっているのです。そこで、その距離をとって、42.195 キロメートルという、とんでもなくキリの悪い距離が決められているのですが、おかしな事にこの距離は、現在の地図の上では、全然違うのです。マラソンとアテネは、もっと近いのです。ではこの距離は何だったのでしょうか？兵士が道に迷って遠回りしたのでしょうか？よく分かりません。マラソンが、今のマラソンと場所が違うのかもしれませんが。だれか調べてください。

オリンピックで思い出すのは、筆者が高校1年の時の東京オリンピックです。日本中が盛り上がっていましたが、盛り上がりすぎて、東京中にへんてこな首都高速が出来てしまいました。高速道路ですから、もっとスマートに作ればよいのに、土地の入手の時間がなかったために、面倒のない川の上に高速道路を作ったのです。おかげで東京の高速道路は昔の川の形です。一番あきれたのが、日本橋の上に高速道路を架けたために、日本の道路の距離の元となる日本橋の中心の柱が移動してしまったことでした。屋根の付いた日本橋を見て、ずいぶん情けなく思ったことを覚えています。ちなみに、日本橋は「にほんはし」と表記します。日本橋の欄干にある「日本橋」の文字は、最後の将軍徳川慶喜が書いたのです。今度通ったら、ちょっと見てみませんか。

もう一つ大きく変わったのが、代々木のオリンピックスタジアム、代々木公園です。それまでここは、ワシントンハイツと呼ばれて、米軍の基地でした。入り口には米兵が銃を持って立っていました。信じられないでしょ！！そうそう、新宿の西口も、駅を出ると一面のススキの原！！！！信じられないでしょ。(こればかり)

今回は本が一冊も出てきませんでしたが、本探しは次回に。(午睡)



—図書室から—

記録的な猛暑のこの夏、台風や災害も多く激しい季節でした。蝉の声とともに、暑さももうひとがんばりでしょうか？

*昭和館ホームページをご存知ですか？ (<http://www.showakan.go.jp>)

各階案内と企画展等催しの情報のほか、図書室では所蔵資料の紹介や図書検索、問い合わせも受け付けています。是非、ご覧ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 59

2004年8月24日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1